

多摩地域の在宅医療・介護・福祉・保健を支える

ふれあい通信

2024
7・8
月号



Index

P2

特集

失語症 ～社会参加へのコミュニケーション支援～

P6 ケアマネ相談室 File 21

新連載 地域医療連携のご紹介

P7 たまふれNEWS

P8 スタッフ紹介 たまレポ! 看護・リハ部 理学療法士 矢田 あずさ

看護・リハ部
理学療法士
やだ
矢田 あずさ



家族と仲間のおかげで
仕事をする喜びを改めて
感じています

たまレポ!

今月のインタビュー

地域相談室 相談員

しんどう ゆり
進藤 優里



こんにちは! たまふれあい地域相談室です。

矢田は総合病院のリハビリテーション病棟で4年間理学療法士として働いた後、訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)に興味を持ち転職しました。祖父の在宅介護で訪問看護師の存在を間近に見て頼もしく感じたことが、訪問リハを始めるきっかけです。訪問リハでは、患者さんの生活圏に直接入っていくため、病院のようにリハビリだけを行うのではなく、患者さんの生活そのものを支えるという点に衝撃を受けました。自身の知識不足を痛感しつつも、患者さんと深く関わることにやりがいを感じるようになりました。

矢田がたまふれあいグループに入職を決めた理由の一つは、訪問リハだけでなく地域医療にも携わることができるからです。実際にデイサービスに通っている方のリハビリも担当し、ご利用者を多角的に見ることで多くの発見がありました。矢田が担当したご利用者は、自宅では内向的であってもデイサービスでは他のご利用者とは話をしたり、一

生懸命に体を動かしたりする様子に驚いたとのこと。この経験が、ご利用者が外に出ていくための目標設定に役立ち、デイサービスを勧めやすくなったそうです。

矢田には3歳半と1歳半の息子がおり、次男の育休を経て現在は時短勤務で復職しています。子どもが体調を崩すことも多く、仕事に集中できないもどかしさを感じることもあるとのことですが、職場に来ると仕事モードに切り替わり、母親以外の自分になれる貴重な時間となっているそうです。また、産休前に担当していたご利用者と元気に再会でき、仕事へのやりがいを改めて感じているとのこと。職場には子どもがいる同僚も多く、心強いと感じながらも、まだ目の前のことで精いっぱいという矢田。少しずつ頼りにされる存在になりたいと経験を積んでいます。「些細なことでも気軽に声をかけてほしい」と話す矢田をよろしくお願いします。

子どもと初めて乗った
飛行機でハワイへ。最高でした!
また行きたい～



弟の面倒をよく
見てくれる
お兄ちゃん。
頼りになります!



車が大好きな二人。
「爆上戦隊ブンブンジャー」に
ハマっています!



地域相談室

イケダのっふやき



夏ですね! 夏といえば、祭り、海、花火大会などイベントがたくさんあって大好きな季節です。みなさんはどこかお出かけされますか?? 私は、地元の福岡にいる頃は毎年必ず海に出かけて

いたのですが、神奈川県に引っ越してからは行けていません…。福岡は海がキレイなので、久しぶりに地元に帰ろうかと思っています!
(地域相談室 相談員 池田あゆ)



ご相談は下記の地域相談室までお電話ください

044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2F